NIE実践報告

1．タイトル：現代社会とのつながりを新聞を通じて理解しよう～自分の進路を見つめて～

2．学校名

兵庫県立神戸鈴蘭台高等学校

3．実践者名（代表者名）

尾崎雅仁

4．学年

第2学年の国際コミュニケーションコース

5．教科・領域名および受講児童・生徒数

学校設定科目「考える方法(A・B)」　33人

6．単元（本時の学習課題）名

現代社会とのつながりを新聞を通じて理解しよう～自分の進路を見つめて～

7．目標(狙い)

生徒自らが興味関心を持つ新聞記事の情報を収集・活用して課題を設定し、まとめ、意見を持つという一連の活動により、現代社会についての理解を深めるとともに総合的なコミュニケーション力を高める。

8．評価の視点

新聞スクラップの「要約・感想」を5段階で評価した。

9．年間指導計画における本単元の位置づけと時数
（または、単元展開および時数と本時の位置づけ）

2学期の小論文学習と3学期のパワーポイントを使ったプレゼンテーション学習と関連づけて、社会問題に対する理解を深めるため、9月から12月の4か月間にわたって新聞スクラップを行った。

10．単元（本時）の学習展開（含む時数）と留意点

(1)新聞の配備：職員室に配達された６紙を毎日、副委員長が教室に持ち込み、教室の後ろに置いた段ボール箱に常備した。段ボール箱は週ごとに1箱、計4箱を用意し、常時1か月分の新聞を自由に見ることができるようにした。生徒は授業中はもちろんのこと、休み時間や放課後にも積極的に新聞記事の切り抜きを行っていた。

(2)課題の提出：週末の課題として事前にスクラップ用紙を配布し、生徒は新聞記事を切り抜き、本文を要約して感想を書くという形式をとった。新聞の切り抜きは学校で行い、要約・感想については家庭に持ち帰って、記入し完成させるという生徒が多かった。なお、スクラップする新聞記事の内容については、自由ではなく各自の進路に関するものという制限をつけた。これについては科目「考える方法」の発展的な科目で3学年で学習する「コミュニケーション探究」の授業テーマに「進路実現」という項目があり、各自の進路について2学年から考えさせるというねらいがあった。

11．児童・生徒の反応、感想・意見

生徒の各学期や1年のまとめをみると、この新聞スクラップについては当初、興味・関心があまりなく、面倒くさいという印象であったが、継続してみると大変役立ったという感想が多数寄せられていた。また、3学年に向けてスクラップこそしないが新聞については継続して読んでいきたいと考える生徒が多くいた。

12．成果と課題

高校生の生活の中で徐々に存在感がなくなりつつある新聞であるが、この実践によって新聞に親しみを持ち、良質な情報源の一つとして再認識する生徒が増えた。6紙も一度に並べて新聞を見ることは高校生にとっては大変インパクトがあった。社会問題に興味・関心を持ち、プレゼンテーションのテーマとして取り上げた生徒も多く、その内容も様々な視点をふまえたものが多かった。ただ、教師の経験不足もあって、あるテーマを深く掘り下げることはできなかった。また、新聞の読み方や各紙によって同じ記事でも切り口が違うことなどをもう少し詳しく説明できれば、生徒の新聞に対する興味をさらに深めることができると思われる。